

(株)リコー 佐藤 多加子氏「世界の環境ラベルに対するリコーの取り組み」



imagine. change.

世界の環境ラベルに対するリコーの取り組み

2018年12月6日

株式会社 リコー
サステナビリティ推進本部
佐藤多加子



imagine. change.

1. リコーグループの概要

- **株式会社リコー**
 設立：1936年2月6日
 資本金：135,364百万円
 代表取締役 社長執行役員：山下良則
 本社：東京都大田区中馬込1-3-6
- **リコーグループの概要**
 グループ企業数：222社
 グループ従業員数：97,878名
 (国内：33,796名、海外：64,082名)
 連結売上高：20,633億円
 (国内：38.8%、海外：61.2%)

*グループ企業数は(株)リコーを除く
2018年3月31日現在 (連結売上高は2017年3月期)



株式会社リコー
 代表取締役 社長執行役員
山下良則

2



imagine. change.

2. リコーグループの事業分野と主な商品・サービス

リコーグループでは、複合機やプリンターなどの情報機器を中心に、製品の開発・生産・販売・サービス・リサイクルなどの事業を展開しています。

- **オフィスプリンティング**
 MFP (マルチファンクションプリンター)・複写機・プリンター・印刷機・広幅機・FAX・スキャナ等機器・関連消耗品、リードス、リポト、ソフトウェア等
- **オフィスサービス**
 パソコン・サーバー・ネットワーク関連機器、関連サービス・サポート・ソフトウェア、ドキュメント関連サービス・ソリューション等
- **商用印刷**
 カットシートPP (プロダクションプリンター)・連転PP等機器、関連消耗品・サービス・リポト・ソフトウェア等
- **産業印刷**
 インクジェットヘッド、作像システム、産業プリンター等
- **サーマル**
 サーマルメディア等
- **その他**
 光学機器・電装ユニット・半導体・デジタルカメラ・産業用カメラ・3Dプリント・環境・ヘルスクア等

2017年4月1日現在

3



imagine. change.

3. 画像機器(複合機・プリンタなど)の環境ラベル・政府調達基準

タイプ I 環境ラベル

- 日本 エコマーク 
- 中国 十輪マーク 
- タイGreen Label 
- 台湾 Green Mark 
- ドイツ Blue Angel 
- カナダ ECOLOGO 
- その他 

政府調達基準

- 日本 グリーン購入法 (特定調達品目「画像機器など」)
- 米国 EPEAT (Imaging Equipment) 
- その他



4

4. 環境ラベル・政府調達基準への適合 RICOH
imagine. change.



- ✓ 環境ラベル、政府調達基準への対応は必須
 - ✓ 基準内容は定期的に改定
 - ✓ 「先進的な環境配慮要求」、「新しい知見」が盛り込まれる
- ⇒ 要求に適合した製品を提供するために・・・
- ・迅速で確実な情報収集
 - ・環境配慮設計などの社内体制の構築

RICOH
imagine. change.

環境ラベル取得に向けた取り組み

5. 事業を通じた重要社会課題(マテリアリティ)の設定 RICOH
imagine. change.

～国連SDGsとパリ協定発効を受け、事業を通じた社会課題解決を強化～



Planet

■ **脱炭素社会の実現**
 Ricohは、徹底した省エネ活動と再生エネルギーの活用などで自社の事業活動から排出する温室効果ガスの実費ゼロを目指すとともに、エネルギー効率の高い製品・ソリューションの提供やビジネスパートナーへの働きかけを強化し、脱炭素社会の構築を目指します。

■ **循環型社会の実現**
 天然資源の効率的・持続的な利用を可能にするために、資源の循環利用や新規投入資源の削減が求められています。Ricohは、製品の回収リサイクルや再生資源の活用をグローバルに推進することにより、循環型社会の実現に貢献します。

6. Ricohの環境目標 RICOH
imagine. change.

2017年4月に新たに“環境宣言”を掲げ、2030年の“環境目標”を新設、2050年の目標を改定。
 ⇒脱炭素社会・循環型社会づくりへの取り組みを強化

※2017年7月14日 S B T 認定



リコーグループ環境宣言
 環境負荷削減と地球の再生能力向上に取組み、事業を通じて**脱炭素社会**、**循環型社会**を実現する。

環境行動計画(3年毎) 具体的アクションプラン 1. 温暖化防止 2. 省資源 3. 汚染予防 4. 生物多様性保全 5. ...	2030年目標 ・スコープ 1, 2 30%削減 ・スコープ 3 15%削減 (調達、使用、物流) (拠点は2015年比) ・製品の省資源化率: 50%	2050年目標 ・バリューチェーン全体のGHG排出ゼロを目指す ・製品の省資源化率: 93%
	↓	

7. リコーサステナブルプロダクトプログラム

RICOH imagine. change.

RSPP (Ricoh Sustainable Products Program)

重要社会課題を解決するためのモノづくりを実現するプログラム

Prosperity (持続可能な経済)

- 生産性向上
- 知の創造

人々の暮らしを向上させること、社会課題を解決すること、社会の発展を促すこと

Planet (持続可能な環境)

- 気候変動への対応
- 資源の持続可能な利用

地球環境の保全、気候変動への対応、資源の持続可能な利用

People (持続可能な社会)

- 生活の質の向上
- 健康で安全な生活環境の確保

SDGsの達成、社会課題の解決、生活の質の向上

自社独自の基準で製品開発、評価一定の基準を満たす製品をサステナブルプロダクトとして自己認証

評価項目	参考する重要社会課題	評価方法
TECH	気候変動への対応	環境負荷低減率、エネルギー効率、CO2排出量の削減
Material	資源の持続可能な利用	再生プラスチックの使用率、有害物質の使用率
Process	生産性向上	サイクルタイム短縮率、不良率の削減
Service	生活の質の向上	ライフサイクルコストの削減
Recycling	環境負荷低減	リサイクル率、再生材の使用率
Warranty	生活の質の向上	故障率の削減、修理コストの削減

✓ RSPP認証製品は、環境ラベル(エコマーク、Blue Angelなど)や政府調達基準(EPEAT、グリーン購入法)に同時対応

✓ 2020年3月目標：画像製品100%認証

8. 環境ラベル取得に向けた取り組み

RICOH imagine. change.

省エネ “QSU技術”

定着ユニット性能改善による消費電力量の削減 (QSU-DH方式)

マルチローラー、新熱線ローラー

定着ヘッド、定着/リド、用紙

人体検知センサー搭載による高速復帰
エコな設定をより使いやすく、実使用電力を削減

スリープタイマー設定時間による消費電力量比較(1年あたり)
RICOH MP C3504の場合

60分設定の場合 15.0 kWh/月

1秒で使用可能! 4.8 kWh/月

1分設定の場合 73%* save!

資源循環

製品の小型軽量化

環境対応設計

市販回収材を用いた再生材開発

従来機 (Imagio MP C6001)

65% 軽量化

750mm 奥行き

RICOH MP C6003

37% 省スペース

685mm 奥行き

8-① 環境ラベル取得に向けた取り組み事例 “QSU” RICOH

RICOH imagine. change.

省エネ

8分消費電力量削減、13分消費電力量削減

人感センサーと復帰制御の変更により、パネルタッチから約1秒で操作可能に高速復帰によりスリープ移行タイマーが1分のもでもストレスなく使え、**実際にお客様が使用される際の実消費電力量を大幅に削減**

- 本体前面に赤外線方式の焦電センサを2個搭載
- 人の接近を検知しシステム制御部を事前に起動
- パネルタッチなど実際の復帰スタート後まで1秒を実現*

*RICOH MP C6004/5504/4504/3504/3004シリーズ

●スリープ移行タイマー時間別1週間消費電力量 [kWh/月]

MP C3504

18.0 (60分設定の場合)

4.8 (1分設定の場合)

73%* save!

省エネモード: スリープ移行タイマーが1~6分設定

台当たりCO2 ▲6.6kg/月

**1ページあたり、RICOH MP C3504シリーズに対して

将来の省エネ基準の方向性を想定した技術開発で脱炭素社会の実現を加速

8-② 環境ラベル取得に向けた取り組み事例

RICOH imagine. change.

資源循環

12分消費電力量削減

RICOH MP C6003/5503/4503/3503/3003シリーズにおいて強度・衝撃シミュレーションを実施し、樹脂や板金の厚さを薄くしつつ、面や隅を補強することで変形を抑制する新軽量フレームにより、**従来機比最大65%以上の軽量化 占有面積の37%を省スペース**

imagio MP C6001

750mm 奥行き

RICOH MP C6003

685mm 奥行き

750mm

587mm

750mm

685mm

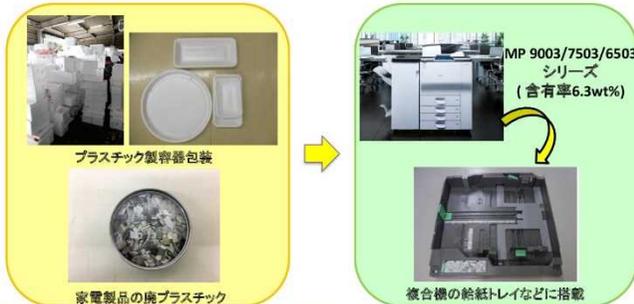
環境ラベル取得と共に徹底的な3Rを通して循環型社会の実現を加速

8 - ③ 環境ラベル取得に向けた取り組み事例
市販回収材から再生したプラスチックの採用



資源循環

市販回収材（プラスチック製容器包装と家電製品の廃プラスチック）を原材料に、繰り返し使える再生材を開発し複合機の給紙トレイなどに搭載



環境ラベル取得と共に徹底的な3Rを通して循環型社会の実現を加速

13

ご清聴ありがとうございました。



まとめ



- 環境ラベルや政府調達基準に適合できるような製品づくりや体制構築を、個社だけでなく業界として進めており、社会課題の解決に繋がる環境配慮製品を提供していきます。
- 各国基準の共通化により、上記取り組みを加速することができ、さらに良い環境配慮型製品を提供することができます。

当局、企業、消費者のさらなる協調により
持続可能な社会の実現の加速を！

14